

乳腺科

1. スタッフ（平成25年4月1日現在）

科 長（准 教 授） 穂積 康夫
 外来医長（助 教） 竹原めぐみ
 病棟医長（助 教） 笹沼 英紀（5A）（兼）
 病院助教 塩澤 幹雄
 櫻木 雅子
 宮崎千絵子
 上徳ひろみ
 シニアレジデント 3名

2. 診療科の特徴

大学附属病院では、数少ない乳腺疾患の専門診療科として、県内はもとより茨城、埼玉、群馬からの患者も多く、北関東では有数の症例数である。放射線科、臨床検査医学の協力で、質の高い診断を行っている。手術では、乳房温存が不可能な場合、希望により、形成外科の協力の元、乳房再建術を行っている。治療では、世界標準治療を行うことを原則とし、さらに新たな標準治療の確立のため、国内外の乳癌専門施設と共同で多くの臨床試験、治験を積極的に行っている。

・施設認定

日本乳癌学会認定施設

・専門医

日本乳癌学会乳腺専門医 穂積 康夫
 他4名

American Society of Clinical Oncology.

Active member 穂積康夫

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新患患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数 539人
 再来患者数 12,538人
 紹介率 70.2%

2) 入院患者数（病名別）

病 名	患者数
乳癌	322
その他の乳腺疾患	15
合 計	337

3-1) 手術症例病名別件数

病 名	人 数
乳 癌	
乳房温存術・乳腺部分切除術	7
乳房温存術＋センチネルリンパ節生検	103
乳房温存術＋センチネルリンパ節生検後腋窩リンパ節郭清	13
乳房温存術＋腋窩リンパ節郭清乳房切除術	8
乳房切除術	4
乳房切除術＋センチネルリンパ節生検	46
乳房切除術＋センチネルリンパ節生検後腋窩リンパ節郭清	20
乳房切除術＋腋窩リンパ節郭清	23
乳房切除術＋センチネルリンパ節生検＋一期的再建術（ティッシュエクспанダー挿入術）	9
乳房切除術＋センチネルリンパ節生検＋一期的再建（自家組織）	9
腋窩リンパ節郭清（のみ）	2
その他の手術	6
小 計	250
その他の乳腺疾患	
乳房切除術	2
腫瘍摘出術	9
その他の手術	2
小 計	13
合 計	263

3-2) 手術術式別件数・術後合併症件数

	症 例 数	合 併 症 件 数	再 手 術 症 例 数
乳房温存術	131	0	0
乳房切除術	111	0	0
その他の手術	21	0	0
合 計	263	0	0

4) 化学療法症例・数

2件（入院）
 280件（外来）

化学療法プロトコール

①乳癌	
1	アドリアシン（ドキシソルビシン）
AC	エンドキサン（シクロフォスファミド）
2	ファルモルビシン（エピルビシン）
EC	エンドキサン（シクロフォスファミド）

3	タキソテール (ドセタキセル)
TC	エンドキサン (シクロフォスファミド)
4	ファルモルピシン (エピルピシン)
FEC	エンドキサン (シクロフォスファミド) 5-FU (fluorouracil)
5	タキソテール (ドセタキセル)
6	タキソール (パクリタキセル)
7	メトソトレキセート
CMF	5-FU (fluorouracil) エンドキサン (シクロフォスファミド)
8	ナベルピン (ビノレルピン)
9	ハラヴェン (エリブリン)
10	アブラキサン (ナブパクリタキセル)
11	アバスチン (ベバシツマブ)
10	タキソール (パクリタキセル) ハーセプチン (トラスツマブ)

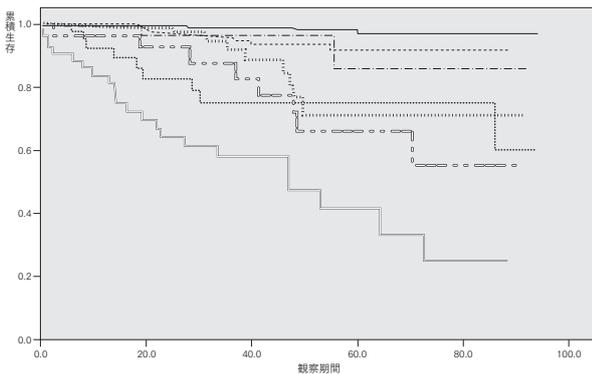
その他の注射	
1	リュープリン (LH-RHアナログ)
2	ゾラデックス (LH-RHアナログ)
3	フェソロデックス (フルベストラント)
4	ゾメタ (ゾレドロン酸)
5	ランマーク (デノスマブ)

5) 放射線療法症例・数

14件 (入院) (実数)

250件 (外来) (実数)

6) 悪性腫瘍の疾患別・臨床進行期別治療成績



stage0 (---: n=53)	5年生存率85.8%
stage I (----: n=400)	5年生存率98.4%
stage II A (—: n=251)	5年生存率92.0%
stage II B (.....: n=108)	5年生存率71.0%
stage III A (==: n=31)	5年生存率66.1%
stage III B (.....: n=41)	5年生存率75.1%
stage IV (—: n=57)	5年生存率41.7%

7) 死亡症例・死因・剖検数・剖検率

入院死亡数： 8人 (現病死)
手術死亡数： 0人
剖検数： 0件 (剖検率0%)

8) その他の治療症例・数 (外来)

乳癌に対するホルモン療法：1100件 (実数)
(注射と経口ホルモン剤合計)
骨転移症例に対するゾメタ (ゾレドロン酸)、ラン
マーク (デノスマブ)：1000件 (のべ)

9) 主な処置・検査

超音波検査 2500件
マンモグラフィ 3000件
マンモトーム生検 50件
コアバイオプシイ 350件

10) カンファランス症例

術前カンファランス 260件
術後病理カンファランス 150件
治療カンファランス 400件

4. 事業計画・来年度の目標等

昨年から乳癌内分泌療法の注射を外来治療センターで開始した。それを鑑み臨床腫瘍科と共同で、外来治療センターの更なる拡充を図る。

既存の診療科やコメディカルとの協力をさらに進め、乳癌のチーム医療の確立を図る。

病診連携クリニカルパスを作成し、県内外の医療機関と病診連携を進める。

外来診療室を1室増設し、外来の待ち時間の短縮をはかる。